

これで分かる！

# 四日市市の予算

予算とは、4月から翌年3月までにおける収入と支出の計画のことです。予算を見れば、本市が今年度、どんな政策や事業にどれだけお金を使おうとしているか、また、どのような収入を見込んでいるかが分かります。

● **平成28年度 総額** 2,516億2,187万円(前年度比2.5%減)

平成28年度は「四日市の地方創生元年」として、新たなまちづくりにチャレンジするスタートの年と位置付けています。予算編成に当たっては、「四日市版地方創生総合戦略」の4つの基本目標を反映した「第2次推進計画」(平成26～28年度)に掲げる事業に優先的、集中的に予算を配分しました。

具体的には、産業振興・子育て支援・福祉施策を中心に防災や道路整備など、総合的な「住みやすさ」「暮らしやすさ」を高める事業と、本市のシティプロモーションに寄与する事業に力点を置いた予算になっています。

● **一般会計** 1,086億8,805万円(前年度比8.2%減)

## 歳入のポイント

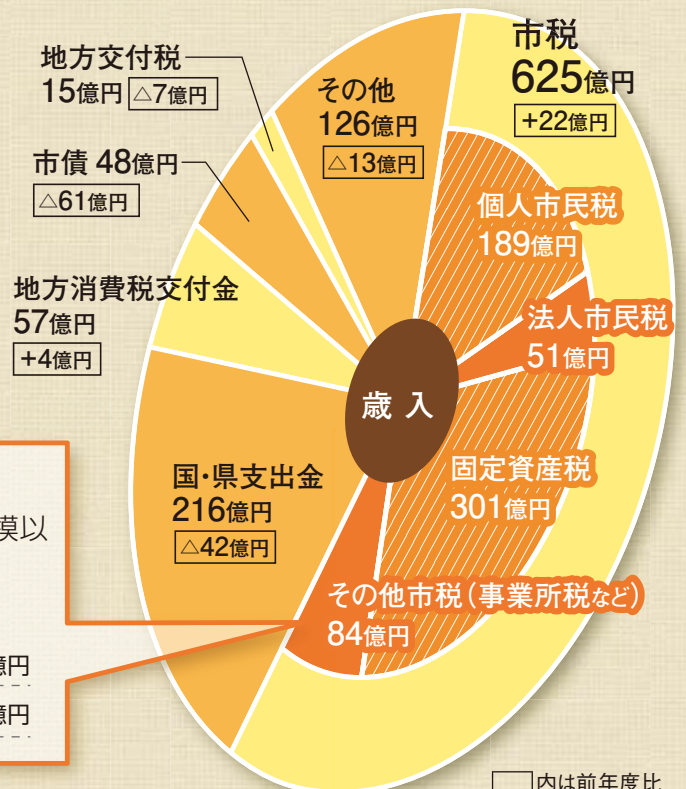
- ・固定資産税の償却資産の増収などにより、市税が625億円(前年度比22億円増)となり、歳入全体の約6割。
- ・四日市市クリーンセンターの完成などにより、市債(発行額)が48億円(前年度比61億円減)。

## 事業所税(平成28年度30.8億円)の使い道

事業所税とは、人口30万人以上の都市で、一定規模以上の事業を営む法人や個人事業者にかかる税金です。

### 主な使い道

小・中学校の整備	11.2億円	下水道の整備	9.8億円
道路の整備	8.6億円	スポーツ施設の整備	0.5億円



□内は前年度比

## 特別会計 一般会計とは区別して行う特定の会計のこと

項目	予算	前年度比	一般会計からの繰入金
競輪事業	183億円	△2.7%	なし(一般会計への繰出金1.8億円)
国民健康保険	349億円	±0.0%	19億円
食肉センター食肉市場	7億円	+1.8%	4億円
介護保険	214億円	+1.4%	31億円
後期高齢者医療	57億円	+6.3%	31億円
その他	7億円	—	5億円

## 企業会計 一つの会社のように、独立採算制で事業・経理を行うもの

項目	予算	前年度比	一般会計からの繰入金
水道事業	106億円	+5.3%	—
市立四日市病院事業	238億円	+7.8%	12億円
下水道事業	268億円	+5.8%	71億円

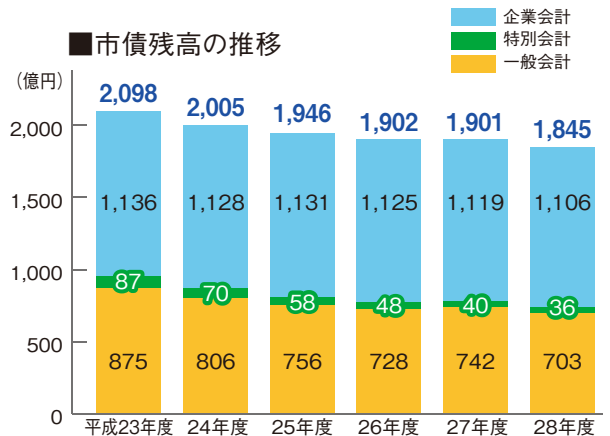
## 財産区 項目 予算 前年度比

項目	予算	前年度比
桜財産区※	0.4億円	+4.5%

※財産管理を行う特別地方公共団体。  
桜財産区管理会が、桜地区にある山林保育などを行っています

## 一般会計の市債残高 703億円

四日市市クリーンセンター整備などに伴い、平成27年度末の市債残高は742億円。平成28年度末には、703億円の残高と見込んでおり、前年度より減少。また、全会計の市債残高も、引き続き減少。



※市債残高は各年決算ベース、平成27年度以降は予算ベース

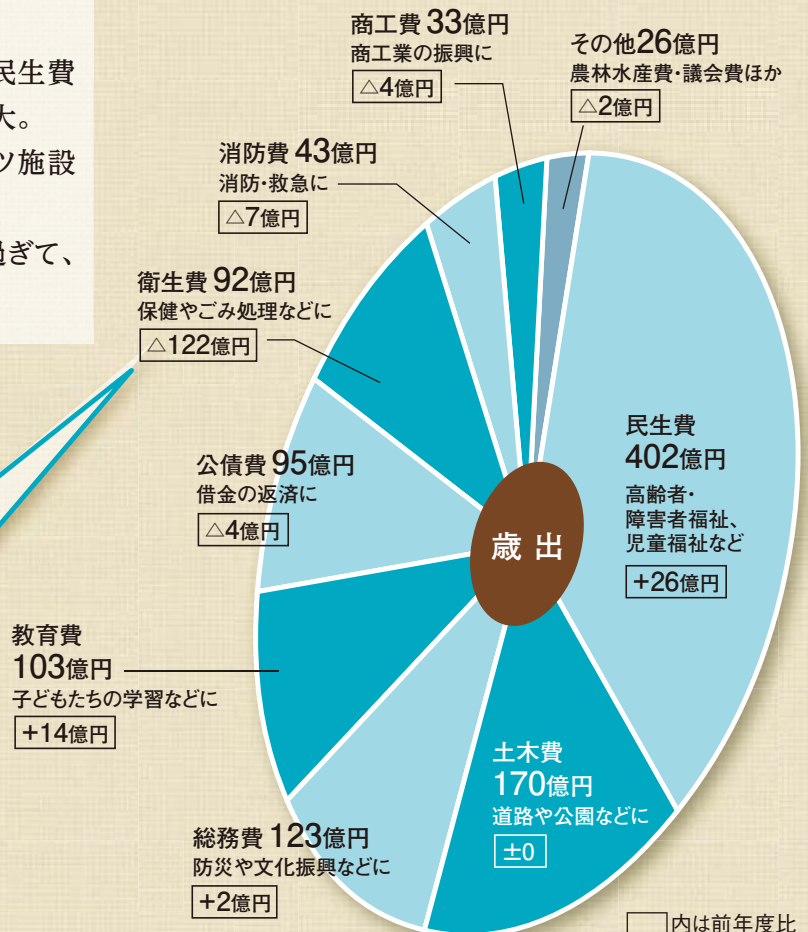
会計および各会計市債残高は、すべて表示単位未満を四捨五入しており、合計と合わない場合があります。

## 歳出のポイント

- ・児童福祉に係る経費が増えたことにより、民生費が402億円(前年度比26億円増)で過去最大。
- ・教育費は、笹川中学校や国体関連スポーツ施設の整備などにより、前年度比14億円増。
- ・公債費は、平成20年度に償還のピークが過ぎて、昨年度に引き続き、減少。

### 衛生費122億円減

平成28年3月に、四日市市クリーンセンターの整備が完了したことにより、前年度比122億円(57.0%)減。



□内は前年度比

# 素敵なまち 四日市

||||||| 平成28年度当初予算における主な事業 |||

## 市民が支えあい、健康で自分らしく暮らせるまち

### 第2子以降子育てレスパイトケア事業

8,264千円

保護者の育児に対する孤立感や負担感を軽減するため、第2子以降の子を出産し、産後6カ月までの間に市内の認可保育園が実施する一時保育を上の子が利用する際に、その利用料を2回まで無料とします。



### 成年後見サポート事業 12,387千円

成年後見制度の啓発、相談および利用者支援のほか、法人後見の受任を行うため、新たに専任職員を配置し、成年後見サポートセンターを開設します。

### 地域リハビリテーション活動 支援事業

1,440千円

高齢者の介護予防の取り組みを進めるため、介護・医療機関のリハビリテーション専門職を、住民運営の集いの場などに派遣します。

### 検診事業 48,294千円

子宮頸がん検診の精度を高める「ヒトパピローマウイルス検査（HPV検査）」を実施するとともに、受診勧奨の強化を図ります。

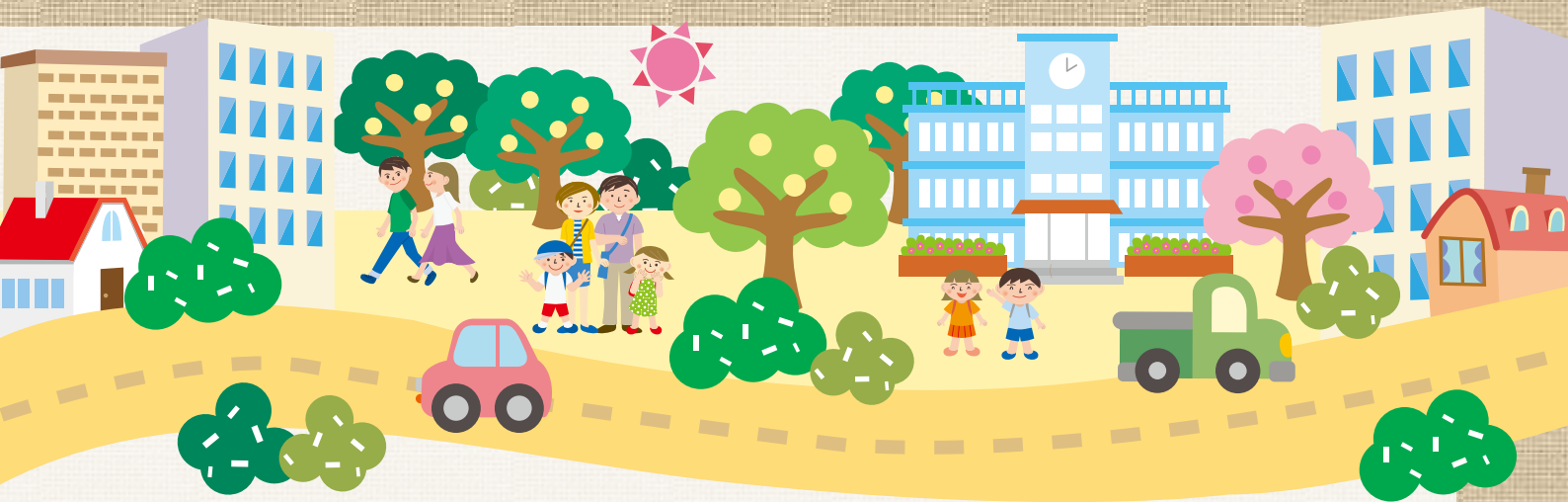


### 地域型保育事業

236,765千円

待機児童対策の一環として、市が認可する定員19人以下の地域型保育事業施設を6カ所増やします。





## 心豊かな“よっかいち人”を育むまち

### 三浜文化会館 整備事業 722,400千円

旧三浜小学校を有効活用し、市民の芸術文化活動などの場として改修工事を実施します。



完成イメージ

### 運動施設 整備事業 260,300千円

平成30年の高校総体と平成33年の三重とこわか国体開催に向け、霞ヶ浦緑地と中央緑地におけるスポーツ施設整備を進めます。



中央緑地の整備イメージ

### 空調設備 整備事業 151,000千円

良好な学習環境整備のため、小・中学校の特別教室(音楽室)に空調設備を設置します。



### 生徒指導・教育相談事業 31,361千円

不登校、いじめや暴力行為などの問題行動を未然に防止するとともに、早期発見・解決に向けた学校の教育相談機能・体制を充実させるため、スクールカウンセラーを引き続き配置するほか、ハートサポーターやスクールソーシャルワーカーの派遣を拡充します。



## 誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち

**総合防災拠点 整備事業 291,700千円**  
**防災倉庫 整備事業 184,350千円**  
**新消防分署 整備事業 486,444千円**

大規模災害時に備えて、全国からの応援部隊や救援物資の一時受け入れ拠点を整備するほか、拠点防災倉庫の整備に向けて、準備を進めていきます。

また、消防車や救急車の現場到着時間の短縮に向け、新消防分署の建築工事と車両購入を行います。



**橋北交流会館 整備事業 940,000千円**

旧東橋北小学校を改修し、橋北こども園（橋北幼稚園と橋北保育園を統合）と橋北児童館を整備するとともに、子育てに関わる市民のための交流スペースを設置し、中小企業支援の場や市民活動などにも利用できる貸館施設も整備します。



## いきいきと働ける集いと交流のあるまち

**観光・シティプロモーション事業**  
**28,510千円**

シティプロモーションを目的としたイベントを大都市圏で開催するとともに、メディアを活用した情報発信にも取り組み、テレビ番組などを活用した広告宣伝、映画館でのCMなどを実施します。



四日市STYLE2015 in 名古屋(アスナル金山)

**水素社会の構築に向けた公民連携 促進事業**  
**7,000千円**

クリーンエネルギーである水素を活用した、新たな事業展開について、臨海部コンビナート企業などと連携して調査・研究を進めます。

**地場産業体験学習事業 6,184千円**

本市の代表的な地場産品である四日市萬古焼への愛着を深め、利用促進や将来の担い手確保を図ることを目的に、市内の小学校を対象とした陶芸体験講座を開催していきます。





## 都市と環境が調和するまち

### 公園等施設 大規模改修事業

**38,000千円**

南部丘陵公園において、四日市あすなろう鉄道の西日野駅と内部駅を結ぶ約6kmの散策路を整備します。また、ヤギ牧場の増設を行うなど、自然を活用した観光公園化を図ります。



### 内部・八王子線 関連事業 **6,500千円**

全国一のナローゲージ(幅の狭い線路)である「四日市あすなろう鉄道」を、本市ならではの地域資源として生かし、広く市内外に発信します。シティプロモーションへの活用とともに、利用促進にもつなげていきます。



利用者への和菓子の振る舞いと東海道散策を組み合わせた催し「まんじゅう列車」

今回紹介した事業のほかにも、市ではさまざまな分野に予算を計上し、今年度実施していきます。予算のさらに詳しい内訳や過去からの推移、各施策・事業の内容については、市ホームページ「予算の概要」(<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu68038.html>)で紹介しています。

#### 編集後記

聞き慣れない言葉や数字が並び、分かりにくいと言われる「予算」。しかし、市民の皆さんに税金の使われ方について正しく知っていただき、また、興味を持っていただくことはとても重要なことです。「広報よっかいち」では、毎年この時期恒例の予算特集ですが、今回もグラフや写真などを交え、分かりやすさを心掛けました。(財政経営課 水谷、広報広聴課 木塚)

今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

- 地デジ12ch(CTY)
- 5月21日(土)～31日(火)に放送  
月・水・金・日曜日 9:30、20:30  
火・木・土曜日 12:30、20:30



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

財政経営課 ☎354-8130 FAX 359-0275  
広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974